

|| 企業調査レポート ||

## オーハシテクニカ

7628 東証 1 部

[企業情報はこちら >>>](#)

2018 年 9 月 4 日 (火)

執筆：客員アナリスト

**佐藤 譲**

FISCO Ltd. Analyst **Yuzuru Sato**



FISCO Ltd.

<http://www.fisco.co.jp>

## 2019年3月は米国を除く全ての地域で増収増益となる見通し

オーハシテクニカ<7628>は独立系の自動車部品メーカーで、約400社の日系自動車・車載機器メーカーにエンジン及びトランスミッション周辺部品、内外装部品など約2万点にわたる精密加工部品を納入している。グループ会社の「ファクトリー機能」(売上高の約25%)と、約300社の協力企業と協働で行う「ファブレス機能」により、品質やコストなど多様な顧客ニーズに対して最適な提案ができるコンサルティングカと、グローバルな供給体制を構築していることが強みとなっている。こうした付加価値提案型のビジネスモデルによって、営業利益率は約10%と自動車部品業界の中でトップクラスの収益性を誇っている。

### 1. 2019年3月期第1四半期業績実績

2019年3月期第1四半期の連結業績は、売上高で前年同期比5.2%増の10,003百万円、営業利益で同5.5%増の1,082百万円とほぼ会社計画通りの進捗となった。基調は前期から変わらず、米州が円高要因もあって売上高で前年同期比7.2%減、セグメント利益で同20.6%減となったものの、日本やアジアなどその他の地域の拡大でカバーした。特に、売上構成比で5割強を占める日本については売上高で同9.0%増、セグメント利益で同8.5%増となり、全体の収益をけん引した。継続的なVA・VE提案活動に加えて、圧入プロジェクション接合技術※を用いた精密プレス部品が、大手顧客の採用車種増加により順調に拡大していること、また、前下期から稼働を開始した鈴鹿新工場での電動パワーステアリング用部品の生産量も増加していることなどが要因と見られる。

※ 圧入プロジェクション接合技術…溶接技術の一種で、加工対象部材に圧力を加えながら電極で通電し、圧力と抵抗発熱で異素材の部品を接合する技術。自動車のトランスミッション部分やエンジン制御装置部品など強度が求められる部位において、「必要とされる核心部分だけ高い強度を保持する部品」を「簡素な製造工程」で量産できることが特徴。従来の部品と同程度の強度を保ちながら、軽量化や低コスト化を実現できる生産技術として注目されている。

### 2. 2019年3月期業績見通し

2019年3月期は売上高で前期比2.6%増の40,000百万円、営業利益で同0.7%増の4,250百万円と期初計画を据え置き、2期連続の増収増益を見込んでいる。営業利益率が0.2ポイント低下するのは、減価償却費や研究開発費の増加、将来にわたる人材増強にかかる費用増加が主因となっている。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に特別利益として計上した補助金収入261百万円が無くなるため、同11.9%減の2,700百万円を見込んでいる。地域別では、日本が前期比約2%の増収増益を見込んでいるほか、中国で同約12%、アセアンで同約4%の増収増益を計画している。米州については、為替レートを約107円/ドル(前期実績約112円/ドル)と円高前提にしていることもあり、売上高で同約1%減、セグメント利益で同約7%減益を見込んでいる。このため、為替が今後も110円/ドル以上で推移するようであれば、2019年3月期の業績は若干の上振れ余地があると見られる。ただし、米国の関税引き上げに伴う影響は検証中で、予測には織り込まれていない。

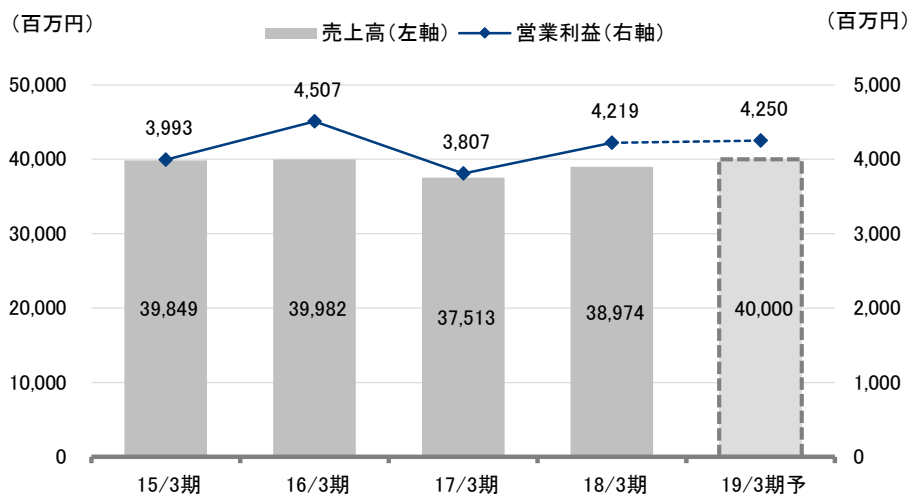
### 3. 配当性向 30% を視野に、安定的な配当成長を目指す方針

2019年3月期の1株当たり配当金は前期比4.0円増配の46.0円（配当性向25.3%）と7期連続の増配を予定している。配当性向の水準としては30%を視野に入れ安定的かつ段階的な配当の増額を実施していく方針である。また、株主優待では3月末と9月末に100株以上保有の株主に対しておこめ券を保有株数に応じて贈呈している。その他、自己株式の取得についても適時検討していく方針としている。

#### Key Points

- ・「ファブレス&ファクトリー」「グローバル供給体制」を強みとした付加価値提案型の自動車部品メーカーで営業利益率は10%を超える
- ・2019年3月期は米州の落ち込みをその他の地域の拡大でカバーし、2期連続増収増益となる見通し
- ・グローバルでの製造機能の強化と開発、マーケティング機能の強化により中長期的な成長を目指す

連結業績の推移



出所：決算短信よりフィスコ作成

## ■ 今後の成長戦略

### グローバルでの製造機能の強化と開発・マーケティング機能の強化により中長期的な成長を目指す

同社は今後の成長戦略として、「グローバルでの製造機能の強化」「開発機能の強化」「マーケティング機能の強化」を重点戦略として掲げている。

「グローバルでの製造機能の強化」としては、国内製造子会社のオーハシ技研(株)で2017年秋より電動パワーステアリング用部品を生産する新工場(三重県鈴鹿市)の本格量産を開始しており、現在は第2期工場建築計画の検討に入っている。同工場の稼働によりオーハシ技研工業の売上高は2017年3月期の約32億円から2022年3月期は約50億円を計画している。また、2017年11月に持分法適用関連会社(出資比率20%)とした(株)ナカヒョウと合弁で米国に設立した精密プレス部品の製造子会社(出資比率90%)についても、2018年秋から本格稼働を予定しており、5年後には10億円規模の生産体制を構築する計画となっている。「圧入プロジェクション接合技術」によるトランスミッション部品の製造を担う持分法適用関連会社の(株)テーカー(出資比率33.9%)についても、同部品の需要拡大に対応するため段階的に設備増強を実施しており、将来的に同部品で10億円程度の売上高を見込んでいる。同社は今後も高い技術力を持つ主要調達先との戦略的パートナーシップの強化を図っていくことで競争力を向上させ、成長の原動力としていく方針としている。なお、2019年3月期の設備投資計画は1,200百万円(前期実績844百万円)となっている。

また、「開発機能の強化」については自動車業界において「電動化」という大きな技術革新が進みつつあるなかで、この変化によって生まれる新たなニーズを確実に取り込んでいくための新技術の開発に注力している。具体的には、需要拡大が見込まれる電動モーターの軽量化・低コスト化に寄与する独自の新商品や新加工技術の開発を進めていく。2019年3月期の研究開発費は100百万円(前期実績47百万円)を計画している。

さらには、こうした技術革新が進むなかにおいて顧客ニーズを迅速かつ的確に収集することが、今まで以上に重要になってくると考えており、その対応策として2018年4月より新たにマーケティング部門を組織化した。市場横断的な調査活動を通じた市場共通ニーズの探索、及びその具体的な開発活動の実行を担うことになり、人員としては3名を充てている。

同社では今後も日系自動車メーカー及び電装品メーカーを顧客ターゲットとして、グローバル化による現地調達ニーズの拡大や電動化によって創出される新たな部品需要を取り込んでいくことで、業界平均を上回る成長を続けていくものと弊社では予想している。

オーハシテクニカ | 2018年9月4日(火)  
7628 東証1部 | <http://www.ohashi.co.jp/>

## 2019年3月期業績見通し

(単位：百万円)

|                     | 18/3期  |       | 19/3期  |       |        |
|---------------------|--------|-------|--------|-------|--------|
|                     | 実績     | 対売上比  | 会社計画   | 対売上比  | 前期比    |
| 売上高                 | 38,974 | -     | 40,000 | -     | 2.6%   |
| 営業利益                | 4,219  | 10.8% | 4,250  | 10.6% | 0.7%   |
| 経常利益                | 4,306  | 11.1% | 4,350  | 10.9% | 1.0%   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 3,065  | 7.9%  | 2,700  | 6.8%  | -11.9% |
| 1株当たり当期純利益(円)       | 206.13 |       | 181.61 |       |        |

出所：決算短信よりフィスコ作成

## 地域別業績見通し

(単位：百万円)

|        | 売上高    |        |       | 営業利益  |        |       | 営業利益率 |        |
|--------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
|        | 18/3期  | 19/3期予 | 前期比   | 18/3期 | 19/3期予 | 前期比   | 18/3期 | 19/3期予 |
| 日本     | 21,363 | 21,800 | 2.0%  | 1,953 | 1,998  | 2.3%  | 9.1%  | 9.2%   |
| 米州     | 8,273  | 8,150  | -1.5% | 1,082 | 1,006  | -7.1% | 13.1% | 12.3%  |
| 中国     | 4,549  | 5,100  | 12.1% | 677   | 758    | 11.9% | 14.9% | 14.9%  |
| アセアン   | 2,748  | 2,870  | 4.4%  | 362   | 378    | 4.3%  | 13.2% | 13.2%  |
| 欧州     | 2,039  | 2,080  | 2.0%  | 88    | 101    | 4.0%  | 4.3%  | 4.9%   |
| 台湾     | -      | -      | -     | 40    | 46     | 12.3% | -     | -      |
| (連結調整) | -      | -      | -     | 14    | -37    | -     | -     | -      |
| 合計     | 38,974 | 40,000 | 2.6%  | 4,219 | 4,250  | 0.7%  | 10.8% | 10.5%  |

出所：決算説明会資料よりフィスコ作成

## 為替レート(期中平均、対円)

|        | 18/3期<br>通期実績 | 19/3期  |        |        |         |
|--------|---------------|--------|--------|--------|---------|
|        |               | 1-3月   | 4-6月   | 通期計画   | 前期比     |
| 米ドル    | 112.19        | 107.36 | 109.60 | 107.00 | 4.6% 円高 |
| 中国元    | 16.63         | 17.05  | 16.98  | 16.50  | 0.8% 円高 |
| タイバーツ  | 3.31          | 3.42   | 3.40   | 3.30   | 0.3% 円高 |
| ポンド    | 144.51        | 150.20 | 147.12 | 147.00 | 1.7% 円安 |
| メキシコペソ | 5.94          | 5.79   | 5.62   | 5.80   | 2.4% 円高 |
| 台湾ドル   | 3.68          | 3.68   | 3.65   | 3.60   | 2.2% 円高 |

注：海外子会社は12月決算のため、第1四半期業績には1-3月の決算が反映されている。

出所：決算説明会資料よりフィスコ作成

#### 重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ